

あゝが『新』 新聞



2017年12月21日(木) vol.57

abn長野 ふるさとCM大賞 文：小柳大祐

県知事賞受賞!



りの賞をうた員割大ばし知結少 本移ままのをたとなをのえ
が皆とをのらのれ賞れた事果し今当動でし皆演もしり好スト
と様思頂が天方の賞發変回にしのた様じて、きもして主人
うといけ正龍が2発ホしと表えはあ道。にるで村主にな
ご獲また直村言位表ッかなのたこり参のそ夜にしな人になり
ざれすだなをつと時としつ時もれが加りし遲あた。つは天
い本。け心選て僅し天たのまとし4てくた。つは天龍。け、
ま当こで情んい差最ま龍時残をでうて時若まで天龍。け、
し幸のもででまだ後し村はり作Cご頂間里までご多くる、
たせ賞幸すよしつまたの諦が成Mざき弱文協く役場職
! でをせがうたで名め大しといまを化協く支
す天な県つと意し前そ賞ま趣まし一ホ力の!とい
。龍こ知てだ審見かがうとし旨した緒!頂村リい
あ村と事いつ査がも呼で県たをた。にルき民!つ員にとん終

ました。天龍村はここ数年、毎年の
ように最終審査会へ進むことができ
これも村民皆様のご理解とご協力が
あつての事だと感じています。
最終審査会では各市町村がCMに
関連したPRパフォーマンスを行い
ます。天龍村はCMの後日談という
設定で、赤松大輔保健師（上写真中
央下）にCMに引き続き主人公を
演じてもらいました。

中井侍いもフェスティバル開催しました

文：福本明花



11月25日(土)に中井侍地区にて、「侍いもフェスティバル」を行いました。天気も良く80名以上の方が来てくださいましたので、大変盛り上りました。

昨日見に来てくれた村の小学生を中心に舞いを踊って、笛や太鼓と共に四辻までお練りをして、その後集会所でみんなと食べる芋串と豚汁はまた格別に美味しかったです。

地区の方、お芋や食材を下さった方、来てくださった方、色々な面でご協力くださった皆様本当にありがとうございました。

～天龍ゆずっ娘プロジェクト～ ゆずの収穫＆出荷が最盛期です！！

文：柏原 亞希



ここ最近は徐々に寒さが増してきてるなー
…と思う日が増えたのですが、皆さんいかがお過ごしですか？？

着任してから毎年行ってきた「天龍ゆずつ娘プロジェクト」ですが、12月1週目～3週目位までが収穫のピークで、今年度の注文分は無事にお客様の元へ届きました♪

今年のゆずは全国的に不作なようで、ゆずの生産量NO.1の高知県でも収量が落ちていたそうです…(>_<)ですが、そのおかげか昨年度天龍村のゆづを使って頂いたお客様が注文数量を倍近くに増やしてくれました！今年も各商品とのコラボ商品が出来あがりつつあります♪♪
ジェラート(アイス屋さん)、ゆずりんごジュース(リンゴ農家さん)、ゆずシードル(ワイン工場さん)用にゆづを出荷したので、ゆづの風味豊かなおいしい商品に変身予定です！！商品が出来たらご連絡させて頂きたいと思います！楽しみに待ってて下さい！！！

また、来年の2月中旬まで阿南町にある【おどもカフェ】にてゆず料理を提供してもらっています♪天龍村産のゆずを使った心も体も温まる料理ですので是非！遊びに行ってみて下さい♪♪



今月の明花

〇〇さんに買って持つていきた
いんだけど、〇〇さんは何をよく
飲むかわかりますか？？」
なんて、お母さんに相談しなが
ら、私は買っています。
そんな地域に密着しているお店
の姿が天龍村にはまだまだあり
ます。

村の大事な酒屋さん。行つたことがない人はいるのだろうか？というくらいお世話になつています。村の自動販売機・飲み会・贈り物など村の色々なところを支えていきます。

花田さんは明治時代に創業して以前はお店の奥にある蔵でお酒を造つていたそうです。時代が進むにつれて飯田・下伊那の小さな酒屋さんが集まつて「喜久水」ができたそうです。

村のお買い物。||



贈答品の箱がずらりと並んでいます。喜久水の成年にならないだオリジナルギフトも取り揃えてあります。新年の一杯目にお勧めです。

今月の随筆(ついひつとは、心に浮かんだ事、見聞きしたことなどを筆にまかせて書いた文章のことです。)

文:上野 真純

今年もあとわずかですね。時間が過ぎるのが早く感じる今日この頃です。

休日に、ゲッターズ飯田の無料講演会へ行き話を聞いてきました。話の中で印象に残ったのは、「過去は変えられる。未来は変えられない。」でした。話を聞いているときは「過去と未来が逆じゃなの?」と思いましたが、考え方、見方を変えることによって過去の解釈を変えることができるということでした。過去に嫌なことがあっても、いつまでも引きずるのではなく、見方を変えて過去を良いものに解釈すると、運気が良くなるそうです。いい話を聞いたと思い会場で本を購入して自分の生まれ持った性格を見てみると「ネガティブで正義感の強い人」でした。ネガティブという言葉が引っかかりますが、そんな所はあるかもしれないと思いました。

「月3万円ビジネス」で知り合った同年代の男性が天龍村に来たので案内しました。知人は特許申請の相談や手伝いをする弁理士という仕事をしているのですが、副業でタロット占いをしていて、「普段は4000円占い料をいただいているけど今回はいろいろ案内してくれたのでタダでみてあげるよ。」と言われ、ここぞとばかりにたくさんの質問をしてカードを引きました。真面目な質問をしたときはアドバイスが書かれたカードを引いて、ちょっとふざけた質問をしたときには戒めの言葉が書かれたものを引いたので、当たってるのかなと思いました。

テレビでニュースを観ると同じことの繰り返しが多いですね。意見を言って、良い方へ向かうのならいいと思うのですが、ただ否定や悪口を言っているので、私はムカムカしてしまうのですぐにチャンネルを変えたりテレビを消してしまったりすることが多くなりました。人を叩くことができるほど、日本には優秀で日々の暮らしを清く正しく生きている人が多いでしょうね。寛容な心があれば、もっと良いと思うのですが…。来年も、自分に正直にいきたいと思います。人の話を聞く耳を持って頑張ります。

なす畠撤去

文:柴田 大輔

こんにちは！今年も終わりに近づいてきましたね。4月から天龍村に住んで約8ヶ月経ちます。桜が咲いて梅雨が来て暑くなり冬はまだかと待ち望んでいましたが、冬になってみると今年も終わりなんやなと。2017年あつという間です。



(写真:左からなす撤去前・撤去後)

さて、12月はていざなすの撤去を行いました。5月に苗を植えてから約半年。初めのうちは「休みの日には散歩にもなるからいいか！」と思っていましたが、日を重ねていくにつれ「何で散歩にもなるからいいか！」とか思ったんやろうと(笑)それでも苗を抜いて閑散とした畠をみると寂しい気持ちになりました。夏の水やりは家から畠に行くだけで汗ダラダラなるし、畠には虫おるしたまには蛇も。自分で堀った溝にはまつアブに追いかけられたり。支柱立てたり収穫したり。お家でお茶をごちそうになったりと南上の畠ではいろんなことがありました。今年の初心者栽培で育ってくれたなすには感謝です。育ってくれてありがとう。

おやす・しめ縄作り

12月7日(木)に松島集会所で「おやす・しめ縄作り」をしてきました。といつても自分が作ったのはおやすだけで、1回作ったものが納得いかず結局3個作りました。わらを織る長さ・形を調整しながら作らないと綺麗に作れません。今回初めて作ってみて納得いくものが作れませんでした。この他にも作れる機会があるのでまた挑戦します。



(写真:左から順にうまくなってたらいいな)

添田 緑壁の活動報告

～協力隊になってからの1ヶ月間の活動を報告します～

協力隊になってから1ヶ月が経ちました。入隊時に観光に関する活動をしていくことが決まり、自分なりに何をしていくべきなのか考えながら行動する日々です。

現在、自分が重きを置いて行っているのが村内巡回です。観光に携わる上で、天龍村に何があるのか、どのような人達がいるのか知ることが大切と思い村内を見てまわっています。11月には、第一段階として全地区と天龍村のパンフレットに載っている観光地を見て回りました。全地区の大まかな特徴などを知ると同時に、観光地については整備が行き届かずに荒れていたり、景観が悪くなっている箇所が多いという現状を知りました。

そのため、12月は第二段階として地区毎の特徴をより深く理解し、観光地の見どころや改善点などを記録していきながら、村内巡回を継続しています。その記録を元に自分は何ができるか・何をすべきなのかを少しづつ明確にして行き、1月の活動に繋げていきます。

(文:そえだ つかさ)



↑大蛇ミニパーク
木が伸びて景観が悪い



↑淨心の滝
滝は綺麗だが廃線が景観を損ねている

観光に関するご意見を教えて下さい！

景色が綺麗な場所、改善すべき場所、観光に関する知識、問題点…etc 観光以外のことでも構いません。村を良くするために意見をください。

添田 緑壁 (そえだ つかさ)まで

2018年 1月



日	月	火	水	木	金	土
	1 元旦	2	3 向方お潔め祭り	4 坂部の冬祭り	5 大河内池大神社例祭	6
7 出初式	8 成人の日	9	10	11	12	13 移住セミナー東京
14 移住セミナー東京	15	16	17	18	19	20
21 移住セミナー名古屋	22 山口大学で講義	23	24	25	26	27
28	29	30	31			